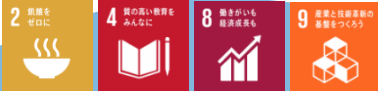


取組内容の概要：

ゆっくりと心地よい時間の中で人々がふれあう社会を理想像とし、次世代モビリティ等を活用した環境にやさしいライフスタイルやスローライフ、スローツーリズムの普及等を通じて市民の価値観転換を促すと共に、新たなコミュニティやビジネス、人材を育む機会を創出することで、市民が幸福に楽しく暮らせる未来社会を創る。

経済



【課題】スローライフのビジネス化

●スローツーリズムの推進

- ①広域連携サイクルツーリズム事業
- ②市内鉄道4社と連携したハイキング事業

●自然豊かな地で自在に働ける仕事環境創出

- ①産学官金連携による「創業者創出事業」
- ②空き店舗を活用した新店舗開設・創業促進
- ③NPOキッズバレイと連携し、子育て世代をターゲットとした「グローケーション事業」
- ④地域おこし協力隊と連携した「6次産業化支援」

●デジタル技術を活用したビジネス創出の支援

- ①北関東産官学研究会や群馬大学理工学部と連携した「産学官共同研究支援及び技術相談」
- ②群馬県と連携した「新技術・新製品開発支援」

【経済面の相乗効果】

新しいライフスタイルを実現する魅力ある仕事環境の創出によって、若者や子育て世代の移住・定住・活躍が促進される。

【社会面の相乗効果】

チャレンジ精神と郷土愛、豊かな感性を持つ若者による、既存ビジネス改善や魅力ある新ビジネスの創出が促進される。

社会



【課題】チャレンジ精神と郷土愛を持ち、感性豊かな未来人材の育成

●産学官民連携で、幼稚園から中学校まで一貫して学べる桐生独自の教育プログラム

- ①感性と地元への誇りを育むSTEAM教育「未来創生塾」
- ②理系人材・ICT人材を育てる「サイエンスドクター事業」
- ③社会の仕組みを学ぶプログラム「ミニきりゅう」

●スーパーサイエンスハイスクール指定高校との連携

- ①市職員による出前授業「桐生学講座」
- ②次世代モビリティ等の共同研究

●大学との連携

- ①「PBL (Problem Based Learning) 教育」の導入
- ②次世代モビリティ等の共同研究

「ゆっくりズムのまちづくり」を加速化する社会装置導入及びプラットフォーム形成事業

●人々が楽しく外出できる移動手段の確保

- ①次世代モビリティ活用事業

●人を呼び込み、交流やまちの賑わいを創出

- ①定住促進センター事業
 - ・店舗開業・起業・就農希望者向け仕事確保
 - ・イベント等開催による郷土愛醸成と交流人口創出
 - ・ポータルサイト構築等による市の魅力発信

●桐生市SDGs官民共創プラットフォーム構築

- ①SDGs人材育成(市民向け講座、イベント等)
- ②SDGsパートナー事業 ③達成度評価と情報発信

環境



【課題】人と環境にやさしいライフスタイルの普及とスローライフを楽しむ価値観の醸成

●ゆっくりで人にも環境にもやさしい移動手段の普及

- ①次世代モビリティ活用事業【統合的取組関係】

●循環型社会の構築

- ①発電事業、②給食残渣活用事業、③空き家・空き店舗の再生・利活用促進等

●スローライフの普及で楽しく健康増進

- ①SDGs健康ポイント事業、②ウォーキング・ランニングの促進、③自転車利用の促進

【経済面の相乗効果】

過剰なエネルギー消費の減少による脱温暖化

【環境面の相乗効果】

来街者(外出する市民、観光誘客)増加による、消費行動の増加

【社会面の相乗効果】

チャレンジ精神と郷土愛、豊かな感性を持つ若者による、低炭素・循環型社会の構築が促進される。

【環境面の相乗効果】

ゆっくりズムの社会に関心の高い若者や子育て世代の移住・定住・活躍が促進される。